

NY マーケットレポート (2017年7月5日)

NY 市場では、原油価格が大幅下落となったことや、序盤に発表された米製造業受注指数が市場予想を下回る結果となったこと、また米株価が下落したことも影響し、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。そして、注目された FOMC 議事録公開では、段階的な利上げを継続する意向が確認されたが、バランスシートの縮小開始のタイミングについて、意見が分かれたことが明らかとなったことが嫌気され、ドルは一時下落する場面もあった。ただ、議事録から年内の縮小開始が確実となったとの見方が広がり、ドルは反発となった。

その後は、米国債利回りが再び低下したことから、ドルは軟調な動きとなり、また原油価格が下げ幅を拡大したことで、クロス円もやや上値の重い動きが続いた。

2017年7月5日(水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.49	113.58	112.82
EUR/JPY	128.95	129.08	128.22
GBP/JPY	146.57	146.66	146.01
AUD/JPY	86.42	86.47	85.91
EUR/USD	1.1363	1.1369	1.1344

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.69	113.49
EUR/JPY	129.01	128.54
GBP/JPY	146.80	146.43
AUD/JPY	86.55	86.22
EUR/USD	1.1365	1.1312

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.21	113.63	113.00
EUR/JPY	128.45	128.68	128.16
GBP/JPY	146.34	146.76	146.10
AUD/JPY	86.07	86.28	85.67
NZD/JPY	82.50	82.62	82.10
EUR/USD	1.1346	1.1356	1.1318
AUD/USD	0.7602	0.7604	0.7571

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21478.17	-1.10
S&P500	2432.54	+3.53
NASDAQ	6150.86	+40.80
日経225 (CME)	20070	-75
トロント総合	15153.12	+22.51
ボルサ指数	50300.81	+259.23
ボベスパ指数	63154.17	-77.42

7/6 経済指標スケジュール

08:50	【日本】6月対内外証券投資
10:30	【オーストラリア】5月貿易収支
15:00	【ドイツ】5月製造業受注
16:15	【スイス】6月消費者物価指数
18:30	【南アフリカ】6月SACCI景況感指数
20:00	【南アフリカ】5月発電
20:00	【南アフリカ】5月電力消費
20:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
20:30	【米国】6月チャレンジャー人員削減数
20:30	【欧州】欧州中銀、議事要旨公表[6月8日分]
21:15	【米国】6月ADP雇用統計
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】5月貿易収支
21:30	【カナダ】5月国際商品貿易
21:30	【カナダ】5月住宅許可件数
22:45	【米国】6月マークイット米国サービス業PMI
23:00	【米国】6月ISM非製造業景況感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1221.70	+2.50
NY 原油	45.13	-1.94
CME コーン	392.00	+3.50
CBOT 大豆	994.25	+13.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.406%	1.410%
3年債	1.579%	1.584%
5年債	1.917%	1.932%
7年債	2.167%	2.189%
10年債	2.325%	2.350%
30年債	2.848%	2.867%

ドイツ10年債	0.470%	0.475%
英国10年債	1.260%	1.247%

7/6 主要会議・講演・その他予定

- ・パウエルFRB理事 講演
- ・フィッシャーFRB副議長 講演

NY 市場レポート

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月メキシコ消費者信頼感指数 87.2 (予想 88.0・前回 86.8)



出所 : Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月米製造業受注指数(前月比) -0.8% (予想 -0.5%・前回 -0.3%)
 前回発表の-0.2%から-0.3%に修正

5月米耐久財受注(前月比) -0.8% (予想 -0.8%・前回 -1.1%)

5月米耐久財受注[除輸送用機器] 0.3% (前回 0.1%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀ 製造業新規受注指数 ▶

	5月	4月	3月	2月	1月	12月
新規受注	-0.8	-0.3	1.0	0.8	0.4	1.8
輸送機器を除く	-0.3	0.0	0.2	0.3	0.7	1.9
資本財	-2.9	-1.9	4.7	2.3	-0.3	1.6
耐久財	-0.8	-0.8	2.4	1.4	0.3	0.3
輸送機器を除く	0.3	-0.4	0.9	0.3	1.1	0.0
輸送機器	-3.0	-1.6	5.4	3.6	-1.2	0.9
受注残	-0.2	0.2	0.3	-0.2	-0.3	-0.4

◀ 経済指標のポイント ▶

5月の米製造業受注は、市場予想の-0.5%を下回る前月比-0.8%の4648億6200万ドルとなり、2カ月連続のマイナスとなった。変動の激しい輸送機器を除いた受注は-0.3%となった。耐久財、非耐久財ともにマイナスとなり、特に自動車以外の輸送機器の落ち込みが目立った。

①耐久財は、前月比-0.8%となり、このうち輸送機器は-3.0%、民間航空機が-11.6%、国防航空機は-30.8%、自動車・同部品は+0.1%だった。この他では、電機・家電が+1.0%、一般機械が+1.1%、一次金属が+0.6%、電算機・電子製品は-0.2%となった。そして、非耐久財は-0.8%となった。

②資本財は-2.9%となり、国防関連を除く資本財が-2.1%、民間設備投資の先行指標となるコア資本財は+0.2%、国防資本財は-8.2%となった。

③製造業全体の出荷は+0.1%、受注残高は-0.2%、在庫は-0.1%だった。在庫は出荷の1.38ヵ月分に相当し、前月と変わらなかった。

0:00

IMF

- ・「米経済の成長見通し、4月時点の予測より幾分か弱まる」
- ・「欧州とアジアの経済成長、小幅改善を予想」

◀ 欧州のポイント ▶

EU統計局が発表した5月のユーロ圏小売売上高は、前月比で市場予想を上回る+0.4%となり、前年比でも+2.6%と市場予想を上回る結果となった。衣料品や靴、ガソリンの売上高が堅調となったことが影響した。ただ、4月に大幅増加した食品・飲料・たばこの売上高は、前月比で減少となり、前年比でも伸びが鈍化した。国別では、ラトビア、ベルギー、エストニアの小売売上高が堅調だった一方、フィンランドとマルタは減少した。

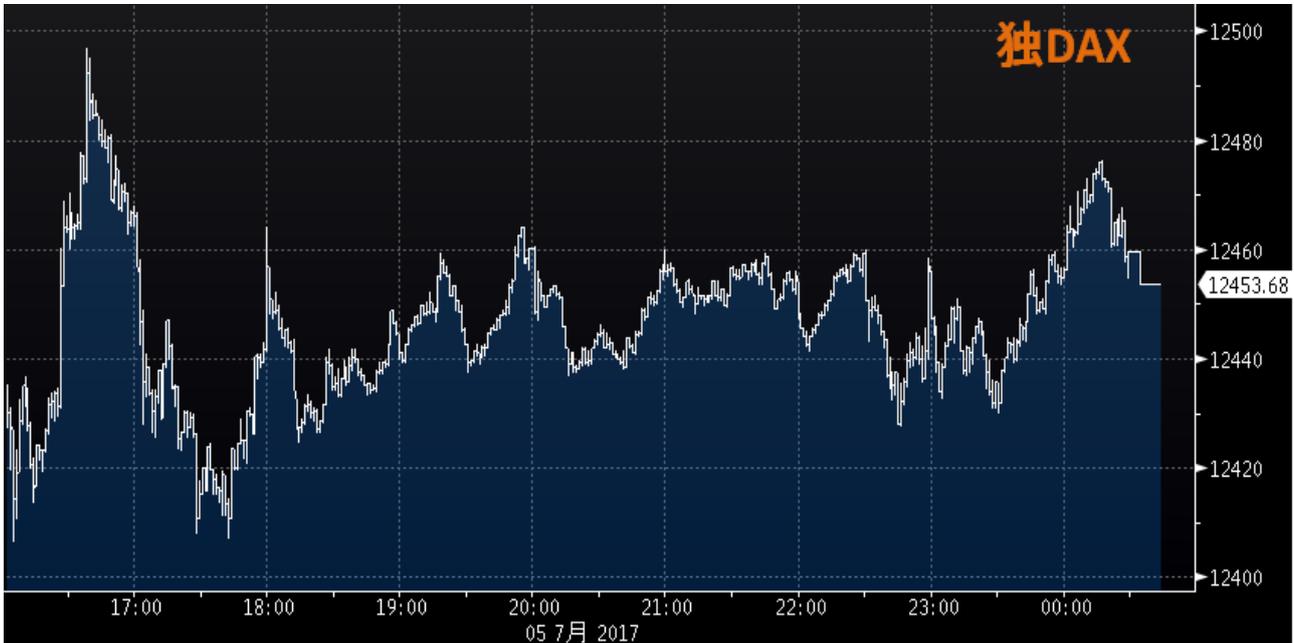
◀ NY債券市場・午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、米製造業受注高が市場の予想以上に落ち込んだことや、原油価格が大幅下落となったことを手掛かりに、安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。その後は、米FOMC議事録の公表を控えて様子見ムードが強まり、もみ合う場面もあった。

午前の利回りは、30年債が2.86%（3日2.86%）、10年債が2.34%（2.35%）、7年債が2.18%（2.19%）、5年債が1.92%（1.93%）、3年債が1.58%（1.58%）、2年債が1.41%（1.41%）。

〈欧州株式市場〉

欧州株式市場は、ユーロ圏経済の先行き期待を背景に堅調な動きとなった。ただ、原油価格の下落を受けて、投資家心理が圧迫されたことから、やや上値が抑えられた。



出所：Bloomberg

3:00

〈FOMC 議事録〉

- ・「バランスシート縮小の開始時期で意見が分かれる」
- ・「軟調な物価は特殊要因が原因と大半の当局者が判断」
- ・「幾人かの当局者は、インフレが鈍化した可能性を懸念」
- ・「当局者2人は、失業率の過剰低下によるインフレリスクを懸念」

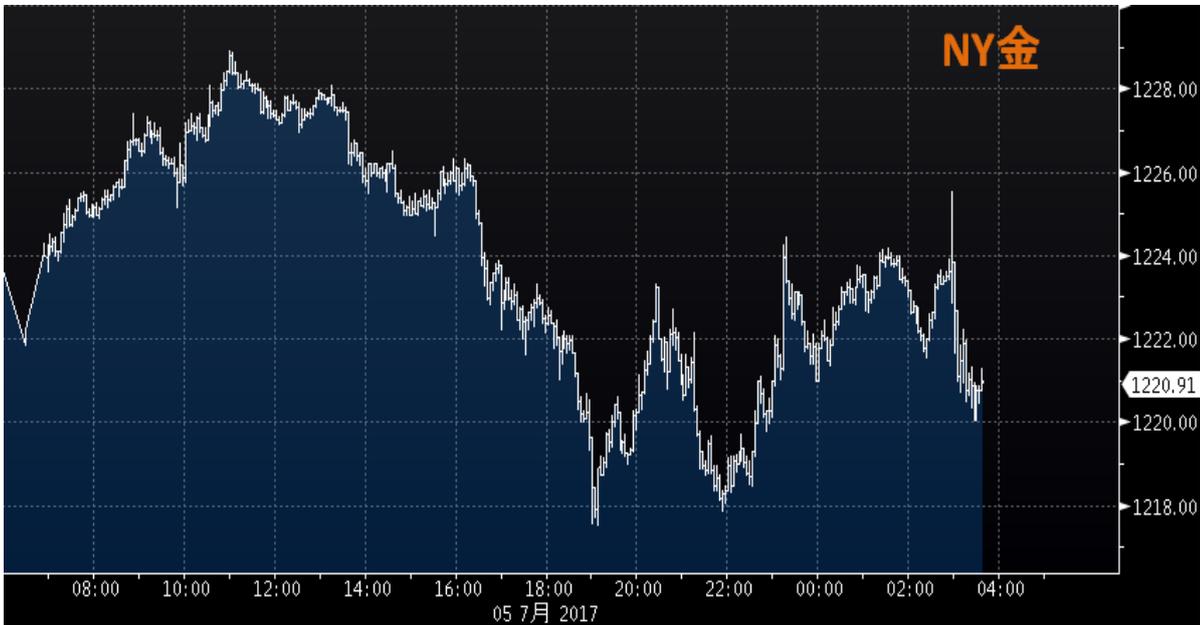
- ・「利上げにもかかわらず金融状況は緩和したと指摘」
- ・「緩やかなペースでの利上げをあらためて支持」
- ・「幾人かの当局者は、数ヵ月以内のバランスシート縮小発表を支持」

- ・「イエレン議長は、6月会合でバランスシート計画について新指針の発表を提案」
- ・「バランスシート縮小の金融への影響は限定的と判断」
- ・「保有証券縮小、年内の遅い時期への先送りを主張する当局者も」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 2.50 ドル高の 1 オンス=1221.70 ドルで取引を終了した。

NY 金は、北朝鮮情勢の緊迫化への懸念や 5 月の米製造業受注の減少を背景に、金に資金を避難させる動きが広がった。ただ、ドルが主要通貨に対して上昇したため、ドルの代替資産とされる金が売られる場面もあり、上げ幅は限定的だった。

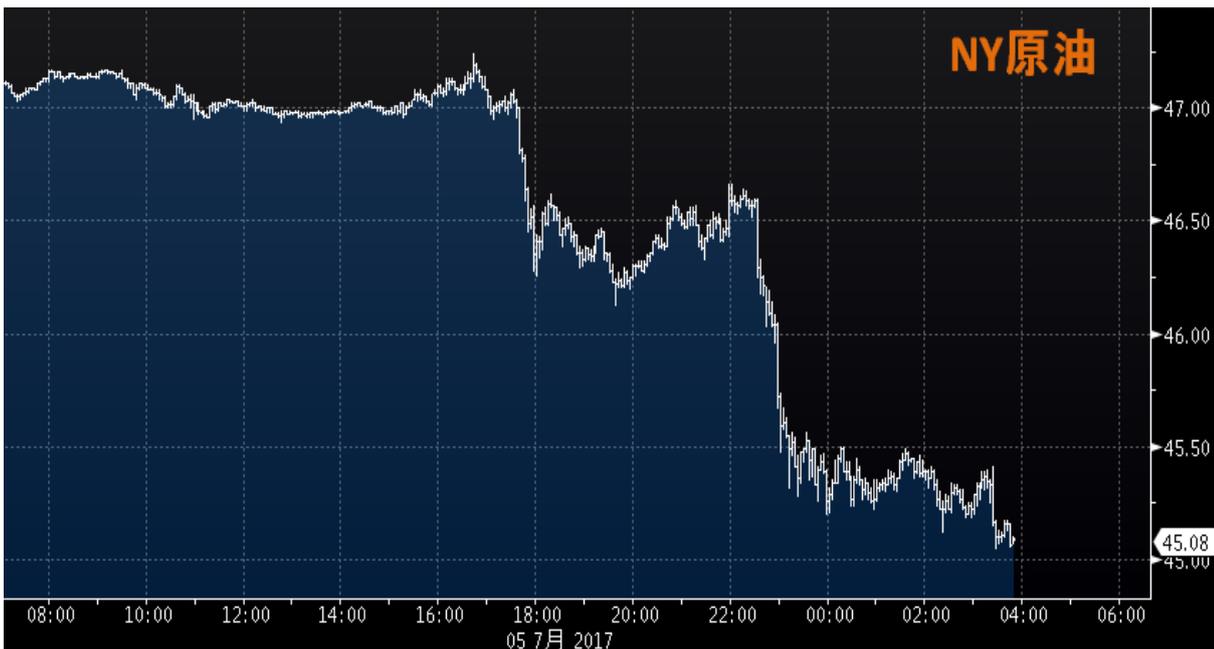


出所 : Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 1.94 ドル安の 1 バレル=45.13 ドルで取引を終了した。

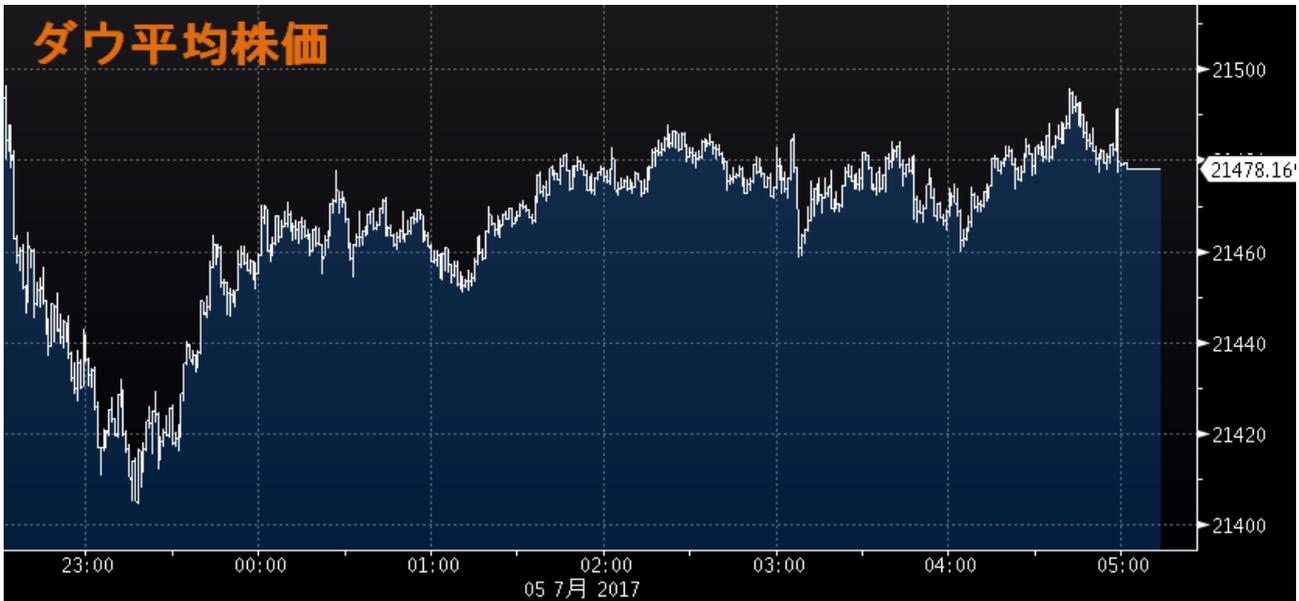
NY 原油は、OPEC の 6 月の原油輸出量が増加したことを受けて、ロシアが協調減産の規模拡大に反対の姿勢を示しているとの報道も嫌気され、売りが優勢となった。



出所 : Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、原油価格が大幅下落となったことを受けて、石油関連銘柄が売られており、これが相場全体を引き下げる要因となった。また、米製造業受注が市場予想より悪かったことも売り材料となった。ダウ平均株価は、一時 74 ドル安まで下落したものの、その後は下げ幅を縮小し小幅安となった。一方、ナスダックは終盤にかけて堅調な動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、原油価格が大きく下落したことが影響し、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。また、米経済指標が予想を下回る結果となったことから、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。その後、ドル/円は FOMC 議事録を受けてやや値動きの荒い動きとなったが、クロス円は底固い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。